

## 第 3 課 格の用法・名詞の複数形

### 1 ドイツ語の名詞の性と複数形

#### 1) 名詞の性

ドイツ語の名詞は文法上の〈性〉をもっており、〈男性名詞〉、〈女性名詞〉、〈中性名詞〉と3グループに分けられ、それぞれ単数と複数とがあります。

ドイツ語の名詞はふつういずれかのグループに属することになります。

また、ドイツ語の名詞は文の途中でも大文字で書き始めます。

その一部を挙げれば、以下のようになります。

男性名詞	女性名詞	中性名詞
der Computer コンピュータ	die Blume 花	das Auto 自動車
der Salat サラダ	die Diskette フロッピーディスク	das Bett ベット
der Wagen 自動車	die Waschmaschine 洗濯機	das Telefon 電話
der Tisch 机	die Mikrowelle 電子レンジ	das Kaufhaus デパート
der Stuhl 椅子	die Vase 花瓶	das Haus 家
der Baum 樹	die Bluse ブラウス	das Regal 本箱

どの名詞がどのグループに入るかは、名詞の綴りを見ても分かりません。

ある名詞が男性名詞か女性名詞かあるいは中性名詞であるかは、辞書をひいて覚えましょう。

名詞の前にある〈der〉、〈die〉、〈das〉はそれぞれの名詞の定冠詞の1格です。

定冠詞は英語の the に相当します。

名詞の意味を覚える時には必ず定冠詞をつけて、意味ばかりではなく、性をも覚えることがドイツ語をマスターするコツです。

## 2) 定冠詞と不定冠詞

定冠詞は英語の *the* にあたり、「特定のもの」や「既知っているもの」を示し、一方不定冠詞は英語の *a/an* にあたり、「はじめて見たり、聞いたりする未知のもの」を示します。

不定冠詞は単数形にのみ使われます。

次の文を見てください。

Das ist **ein** Computer. **Der** Computer ist neu. (それはコンピューターです。そのコンピューターは新しい)

ist は英語の be動詞にあたります。

Computer という名詞が2回繰り返されています。最初は不定冠詞とともに使われ、2度目は定冠詞と使われています。

このように名詞をはじめて使う場合には、未知のものであるために名詞に不定冠詞をつけ、その名詞をもう一度使う場合には、すでに既知のものとなっているために、定冠詞をつけるわけです。

定冠詞はコンテキストや前後関係から「それ」と特定できるものを示す場合にも使われます。

Er öffnet **das** Fenster. (彼は(この部屋の)窓を開ける)

## 3) 複数形

名詞には単数形と複数形とがあります。英語には複数形を作るルールがありますが、ドイツ語にはありませんので、辞書を引くことが複数形を知る早道です。

ここで辞書の見方と名詞の覚え方を学びましょう

名詞については意味ばかりではなく、名詞の性、単数形2格形、複数形についても知る必要があります。

名詞は、辞書によって異なりますが、次のように書かれています。



### 1) 性

男性名詞:[男]、あるいは「m」(Maskulinumの略)という記号があるものは男性名詞です

女性名詞:[女]、あるいは「f」(Femininumの略)という記号があるものは女性名詞です

中性名詞:[中]、あるいは「n」(Neutrumの略)という記号があるものは中性名詞です

## 2) 単数2格

「-s」:見出し語(単数形1格)に「-s」をつけたものが単数形2格になります

「-es」: 見出し語(単数形1格)に「-es」をつけたものが単数形2格になります

「-[e]s」:見出し語(単数形1格)に「-s」か「-es」をつけたものが単数形2格になります

「-」: 見出し語が単数形2格になります(女性名詞は単数形では変化しません。この欄に何も書かれていない場合があります)

## 3) 複数1格

「-」:単数形と複数形が同形であることを示します。

「-e」,「-er」,「-en」,「-n」,「-s」:単数形にそれぞれの語尾をつけたものが複数形になります

\*ウムラウトさせて複数形をつくる名詞はその形が書かれています

複数形になると、それに付ける冠詞や、それを指す人称代名詞の選択において男性名詞、女性名詞、中性名詞という区別はなくなります。

単数形から複数形を作るときを考えた場合、以下のことを参考にしてください。

a) 無語尾型:単複同形で、ウムラウトする場合があります。

der Onkel(叔父) → die Onkel

die Mutter(母) → die Mütter

b) -e型:複数語尾-eがつき、ウムラウトする場合があります。

das Jahr(1年) → die Jahre

der Arzt(医師) → die **Ä**rzte

c) -er型:複数語尾-erがつき、常にウムラウトを起こします。

das Haus(家) → die **Hä**user

das Volk(民族) → die **Vö**lker

d) [e]n型:複数語尾-enがつきますが、名詞が-eで終わっている場合は-nのみがつきます。ウムラウトはしません。

die Frau(女性) → die Frauen

die Katze(猫) → die Katzen

e) s型(外来語):複数語尾-sがつきます。

das Hotel(ホテル) → die Hotels

das Auto(自動車) → die Autos

## 2 名詞の格

次に名詞の格について説明しましょう。

名詞は文の中で主語になったり、目的語になったりするなど、さまざまな役割を果たします。名詞が文の中でどのような役割を果たしているかを示す方法は言語によってそれぞれ異なります。英語は語順でどの名詞が主語で、どれが動詞の目的語であるかを示し、日本語は名詞に「は」、「を」、「に」といった格助詞をつけて示します。

ドイツ語は格というものを变化させて、名詞の働きを表します。

格は1格から4格まであります。

1格:Der Hund ist klug. 「その犬は賢い」。

「der Hund」は 1格で、1格は主に主語、述語になります。日本語の「は、が」にあたります。

2格:Die Hütte des Hundes ist groß. 「その犬の小屋は大きい」。

「des Hundes」は2格で、2格は所属関係を示します。日本語の「の」にあたります。2格は後ろから前の名詞にかかることに注意しましょう。

3格:Ich schenke dem Hund einen Knochen. 「ぼくはその犬に骨をプレゼントする」。

「dem Hund」は3格で、3格は間接目的語になります。だいたい日本語の「に」にあたります。

4格:Ich liebe den Hund. 「ぼくはその犬を愛する」。

「den Hund」は4格で、4格は直接目的語になります。日本語の「を」にあたります。

## 3 冠詞の格変化

名詞が格変化というものをすることは学びましたね。

この名詞の格変化というものはふつう名詞の前におかれる冠詞で表されます。

ということは、英語と違い、ドイツ語では冠詞が格変化することを意味します。

冠詞の格変化は大変重要です。といいますのも、格変化を理解していなければ、名詞が何格であるか分からなくなり、その名詞が主語なのか、目的語なのか分からず、文の意味をつかむことができないからです。

### 1) 格変化

さあ、いよいよ、冠詞の格変化です。

定冠詞、不定冠詞の変化語尾はほかのところでも使われます。ここで変化語尾をマスターすれば、後が楽になります。繰り返し、繰り返し、声に出して読み、しっかり覚えましょう

#### a 定冠詞の格変化

	男性名詞	女性名詞	中性名詞	複数形
1格	der Computer	die Blume	das Haus	die Kinder
2格	des Computers	der Blume	des Hauses	der Kinder
3格	dem Computer	der Blume	dem Haus	den Kindern
4格	den Computer	die Blume	das Haus	die Kinder

#### b 不定冠詞の格変化

	男性名詞	女性名詞	中性名詞
1格	ein Computer	eine Blume	ein Haus
2格	eines Computers	einer Blume	eines Hauses
3格	einem Computer	einer Blume	einem Haus
4格	einen Computer	eine Blume	ein Haus

名詞の格変化には以下の規則があります。

\* 男性名詞、中性名詞の2格には、名詞の語尾に-[e]sをつける。(例) der Computer → des Computers

\*\* 女性名詞は単数形では変化しない

\*\*\* 複数形3格には、名詞の語尾に-nをつける。ただし、複数形1格が-nで終わっている名詞には-nをつけない。

また、単数形の語尾に-s をつけて複数形を作る名詞は、複数3格の場合でも、名詞の語尾に -n をつけません。

(例) die Blume (単数1格)、die Blumen (複数形1格) → den Blumen (複数形3格)

das Hotel (単数1格)、die Hotels (複数形1格) → den Hotels (複数形3格)

## 4 人称代名詞の格変化

### 1 人称代名詞

Das ist ein Wagen. Der Wagen gefällt mir. Ich kaufe *ihn*. (それは車です。私はそれが気に

買った。私はそれ(=車)を買う)

上の文にある「ihn」が人称代名詞です。

代名詞は名詞の代わりになるもので、名詞の繰り返しを避けるために使われます。

人称代名詞も名詞と同様に数・格・性(3人称単数形の場合のみ)に応じて格変化します。

## 2 人称代名詞の格変化

人称代名詞は以下の表のように格変化します。

(単数形)

	1人称	2人称 (親称)	3人称			2人称 (敬称)
			男性	女性	中性	
1格	ich	du	er	sie	es	Sie
2格	(meiner)	(deiner)	(seiner)	(ihrer)	(seiner)	(Ihrer)
3格	mir	dir	ihm	ihr	ihm	Ihnen
4格	mich	dich	ihn	sie	es	Sie

3人称単数形は3種類あります。これは名詞が男性、女性、中性の3グループに分けられているからです。

ここで既に学んだ定冠詞と3人称単数形の人称代名詞の対応関係を確認しましょう。

der:er, dem: ihm, den:ihn, die:sie, der:ihr, das:es, den(複数3格):ihnen

人称代名詞が定冠詞と同じ語尾で格変化していることが分かります。

ドイツ語の場合、英語とは異なって、「物」であろうと「人」であろうと、男性名詞はすべて「er」の系列の人称代名詞を使うこととなります。

女性名詞はすべて「sie」の系列の人称代名詞を使うわけです。

簡単に言えば、常に「er」=「彼」、「sie」=「彼女」にはならないということです。☆人称代名詞の2格には「-の」という所有の意味はなく、その用法は限られています。

☆ 2人称(敬称)は文中でも大文字で書き始めます。

(複数形)

	1人称	2人称(親称)	3人称	2人称(敬称)
--	-----	---------	-----	---------

1格	wir	ihr	sie	Sie
2格	(unser)	(euer)	(ihrer)	(Ihrer)
3格	uns	euch	ihnen	Ihnen
4格	uns	euch	sie	Sie

☆複数形の3人称は一つしかありません。

人称代名詞の2格には「ーの」という所有の意味はなく、その用法は限られています。

2人称(敬称)は文中でも大文字で書き始めます。